

静岡福井県人会会報

令和5年4月7日発行

第267号

事務局 〒411-0833 静岡県三島市中 247-5-B101 武長敏彦 様方

TEL/FAX 055-976-3925 MAIL taketoshi0830@yahoo.ne.jp

迫る新幹線時代 オールふくいで魅力を磨こう!!

北陸新幹線、金沢～敦賀間(約125キロ)が2024年春にいよいよ開業する。整備計画が決定してから半世紀、県民悲願の実現はもうすぐそこだ。レールは昨年末につながった。現在は設備や電気工事の真っただ中。芦原温泉、福井、越前たけふ、敦賀の4駅舎も設置され、各駅周辺の整備も急ピッチで進行中。各駅舎の個性や特徴を紹介する。

《福井駅》県都の新たな玄関口となる駅舎の外観は、一乗谷朝倉遺跡や大本山永平寺の唐門をモチーフにした木調で「太古から未来へ～悠久の歴史と自然が見える駅」がデザイン。内装は天井や柱に県産木材や越前和紙を、床の一部には笏谷石を用いるなど格調高い重厚な「和の空間」を演出している。



福井駅（東口）



《芦原温泉駅》

福井旅、最初の玄関口となる駅舎の外観は、黒い木調で仕上げた温泉街に相応しい「和の風情漂う駅舎」。内装は県産スギ材の柱に行燈をあしらった旅館内の温かい雰囲気が感じられる工夫をしている。



芦原温泉駅

《越前たけふ》

丹南地域の玄関口となる駅舎の外観は、翼を広げたコウノトリをイメージし、屋根には銀鼠色の越前瓦を使用。内装は天井や待合室の壁などに5つの越前伝統工芸(和紙、刃物、漆器、箪笥、指物金具)産地が集積する全国でも稀な地域に相応しい工夫が随所に見られ来県者を出迎える。



越前たけふ駅

《敦賀駅》

整備新幹線の駅では日本一の高さ、12階建てビルに相当する約37mで、3階に新幹線ホーム、2階はフロア、1階は在来線ホームが整備。駅舎の外観は、港町らしく敦賀湾のきらめきを表現したデザイン。駅舎からは敦賀の街並み、海の青さ、敦賀半島の山々が遠望されまさに「空に浮かぶ～自然に囲まれ、港を望む駅」。内装は天井全体を北前船の帆をイメージした浮遊感のある工夫をしている。



敦賀駅

すごいよ、「吉崎の人たちの、反骨精神」

あわら市吉崎の国指定史跡・吉崎御坊跡の中央に蓮如上人の銅像がある。墨染の衣に菅笠と数珠を手に持ち、脚絆を巻き草鞋をはいた旅姿。自らの信仰を人々に伝える為に歩き回った放浪の宗教家の面影を彷彿とさせる。銅像は身の丈が約5mで、約7mの御影石の台座の上に立つ。1928(昭和3)年の昭和天皇の即位大典を契機に製作の話が持ち上がり、日本中から寄付金を募った。彫刻家の高村光雲らが東京で原型の制作に当たった。6年がかりで34(昭和9)年に除幕した。だが太平洋戦争に突入すると軍需用の物資が不足する。これを補うために「金属供出」といって、お寺の鐘や銅像などが次々に回収された。蓮如像にも回収命令が出た。陸軍の工兵隊員が来て銅像の撤去に当たる。持ち上げる為に銅像の首に鎖をかけようと、一人の兵隊が蓮如の頭部に足をかけた途端、滑ってケガをした。工兵隊員が吉崎の人達に「手伝え」と触れて回るのだが、誰一人家から出て来なかつたばかりか、断ってしまった。軍隊に逆らうようなことまでして、蓮如の銅像を守ろうとした。

戦時体制下にあって、とりわけ軍部の力が強かった時代を思えば驚きである。蓮如の伝えた念佛の教えと反骨の精神がいかに吉崎の人達に浸透していたかを物語る逸話だと思った。

—— 福井新聞の記事を抜粋して ——

人生訓・・・「運・不運」について

長い人生、自分の思い通りに行かないことは何度もある。そんなとき人間はつい他人のせいにしたり、最初からそうなる運命だったと言い訳したりして、責任を免れようとする。しかし期待と裏腹の結果に終わるのは、本当に他の誰かが邪魔をした影響なのか、或いは運命の前で人は無力でどうしようもないのだろうか。「これから哲学入門」の中にこんなエピソードが紹介されている。

あるタクシー運転手の話であるが、「お客様を載せてしまったら、あとは目的地まで安全に運転すればいい、だがこの時間は仕事ではないと」ではいつが仕事かと聞けば、「お客様を降ろして、次のお客さんが乗る時まで、漫然と車を走らせていてはダメ、いつ何処でお客様を拾えるかの情報を集めることだ」と言う。更に付け加えて「客が少なくて今日は運が悪かった、と言っているようでは、この仕事はやっていけないです」と言いきった。人生に偶然や運命はあり、努力しても報われないことはある。でも何もせずに運命を逃げ道にしてはいけない、と先の哲学書は教える。

格言にもあるが「努力にまさる、天才なし・・・」

—— 福井新聞の記事より ——

「さざれ石」ってどんな石か知ってる?

東京オリンピックでは国歌「君が代」が何回も流れました。

「君が代」の歌詞は、日本人なら誰もが知っていますよね。

「君が代は、千代に八千代にさざれ石の巖となりて、苔のむすまで」です。

国歌として世界で最も短い歌詞だそうです。ではその歌詞の内容については?

「君が代」とは、天皇やその国家を意味するのでしょうか。

「千代に八千代に」とは、「長くいつまでも」の意味です。

「さざれ石」とは、「小さな石」のことです。

「巖となりて」とは、この小石が結合力のある石灰質を縁(えにし)として、巖(大きな岩)となることを意味するのです。

「苔むすまで」とは、その岩に苔が生えるまで、の意味です。

これらを要約すると「天皇を象徴とする日本国は、さざれ石が集まって大きな岩となり、その岩に苔が生えるまで、長くいつまでも繁栄していくように」との願いの込められた歌です。さて、さざれ石とはどんな石?それは小石のことで細石(さざれ石)とも書きます。この小石が石灰質によって固まった大岩が大変めでたいので、世間ではこの大岩を、通称「さざれ石」と呼んでいます。このさざれ石は、小石が巖となりますので、国歌には「小さな石でも力を合わせれば、巖のような大きな力となる」との強い願いが込められています。さざれ石の学名は、「石灰質角礫岩」ですが、その大岩で知られるのは、岐阜県揖斐川町です。ここでは名峰、伊吹山の石灰岩が源になっています

—— 福井新聞の記事を抜粋して ——

◆◆◆◆◆ 定期総会&映写会開催のご案内 ◆◆◆◆◆

漸くマスク着用の規制も解かれ、徐々に元の生活リズムに戻れそうな気配ですが、未だ収束していない現状では安全、安心とは言えず、これからも自身が注意することが大事なことと思います。

私共福井県人会では、今年1月に予定した新年会もコロナ禍で止むをえず中止しましたが、例年4月の定期総会は今年こそは開催したいとの思いから、下記の通り計画しました。但し総会の形式は従来とは異なり、各自が昼食後にご参集をお願いしたいことと、会場をホテルではなく広い会議室にし、そこで映画も鑑賞して頂くためです。この映画は予てから計画していたもので、古里福井の映画で「福井駅前物語」を上映します。その内容は福井駅周辺が明治から令和の時代への変遷を収めた記録映画ですので、会員各位にはその描写を大いに期待してご鑑賞下さい。その後に会場を移動して懇親会を予定しておりますので、ご希望の方はご参加下さい。参加は任意と致します。

総会などの詳細は下記の通りです。

記

1. 開催日時 : 令和5年5月13日(土) 13時より開始 (厳守)
2. 会 場 : 静岡交通ビル3階 大会議室
(静岡駅南出口のすぐ左横のビル)
3. 会 費 : 2,000円
(懇親会の費用は別途です)

※総会への出・欠席は4月末頃に役員が電話を入れますのでご返答下さい 年会費の納金については令和5年分からとし3,000円お願いします

以上